

資料

人権問題に関する町民意識調査 調査表

人権問題に関する町民意識調査

調 査 票

平成17年12月

豊 能 町

■調査のお願い

この調査は、豊能町における今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するために、町民の皆様にも人権問題についての意識やお考えをお聞きするものです。

(問1～12-1までは人権問題全般、問13～28までは同和問題などに関する設問になっています。)

お手数ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、何卒、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

■調査のあつかい

1. この調査票は、町民のみなさんの中から、無作為に1,000名の方を選び、調査票をお送りしています。
2. 無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。また、この調査により、あなた自身にご迷惑をかけることはいっさいありません。ありのままのお考えやご意見を率直にご記入ください。
3. 結果は統計的に処理しますので、個人の回答内容が外部にもれたりすることはありません。集計後、この調査票は廃棄処分します。
4. この調査は、上記目的以外に使用することはありません。
5. 大阪府においても同様の調査が行われています。万一、重複した場合でも、お手数をおかけいたしますが、本調査にもご協力いただきますようお願いいたします。

■記入上の注意

1. このアンケートは、あて名のご本人がご自身でご記入ください。
問1から順に質問ごとに用意している答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号に、ボールペンや鉛筆などで○印をつけてください。(質問によっては、数字等を記入いただくところがあります。)
2. お答えは、お手数ではございますが、10日間をめどに同封しました返信用の封筒でお送りください。(最終締切は、1月10日(火)です。)
3. 差出人の住所・氏名及び切手(郵便代)は、不要ですので、そのままご投函ください。

《 問 い 合 わ せ 先 》

この調査に関するご質問などは、下記までお願いします。

豊能町 総務部 自治人権課

電 話 (072)739-3414 (直通)

最初に、人権に関わる法律や施設などについてお聞きします。

問1 あなたは、次の人権に関する宣言や条例等についてどの程度ご存知ですか。次の(1)～(8)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	どんな内容か知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	知らなかった
(例) ○△○×条例	1	2	3
(1) 「部落解放・人権擁護の町」宣言 (豊能町 1993(平成5)年)	1	2	3
(2) 豊能町人権尊重のまちづくり条例 (1998(平成10)年)	1	2	3
(3) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 (2000(平成12)年)	1	2	3
(4) 個人情報保護法(2003(平成15)年)	1	2	3
(5) 同和对策審議会答申(1965(昭和40)年)	1	2	3
(6) 児童虐待の防止等に関する法律(2000(平成12)年)	1	2	3
(7) 交通バリアフリー法(高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律)(2000(平成12)年)	1	2	3
(8) 世界人権宣言(1948(昭和23)年)	1	2	3

問2 人権について学ぶことができる次の施設及びイベントをご存知ですか。あるいは実際に行った(参加した)ことがありますか。次の(1)～(3)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	実際に行った(参加した)ことがある	行った(参加した)ことはないが、名称は聞いたことがある	知らなかった
(1) 町立ふれあい文化センター(施設)	1	2	3
(2) ふれあいフォーラム (イベント 毎年6月頃開催 豊能町主催)	1	2	3
(3) 人権を考える集い(イベント 毎年12月頃開催 豊能町人権まちづくり協会主催)	1	2	3

人権についての意識や考え方をお聞きします。

問5 あなたは、人権についてどのようなイメージを持っていますか。

あまり深く考えずに、頭にかんだ感じを気軽にお答え下さい。(それぞれ1つに○)

		非常にAに近い	ややAに近い	どちらでもない	ややBに近い	非常にBに近い	
	A						B
(例)	広い	1	2	3	4	5	狭い
(1)	暗い	1	2	3	4	5	明るい
(2)	温かい	1	2	3	4	5	冷たい
(3)	自己中心	1	2	3	4	5	他人尊重
(4)	好きな	1	2	3	4	5	嫌いな
(5)	せまい	1	2	3	4	5	ひろい
(6)	苦しい	1	2	3	4	5	楽しい
(7)	身近な	1	2	3	4	5	縁遠い
(8)	有効な	1	2	3	4	5	無意味な
(9)	強制的な	1	2	3	4	5	自発的な
(10)	近づきたい	1	2	3	4	5	遠ざかりたい
(11)	意欲的な	1	2	3	4	5	無気力な
(12)	古い	1	2	3	4	5	新しい
(13)	親しみやすい	1	2	3	4	5	親しみにくい
(14)	自由な	1	2	3	4	5	不自由な

ふだんの生活意識や自分自身についてどう思っているかお聞きします。

問3 日本には、いろいろ古くからの言い伝えや考え方がありますが、あなたのお考えに近いのはどれですか。次の(1)～(5)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	当然の理(当然) (当然の理)	おかしいと思うが自分 だけ反対しても仕方が ないと思う	間違っていると思う (間違い)
(1) 結婚式は「大安」の日でないと、よくないという考え方	1	2	3
(2) 結婚相手をきめるときに、家柄がよいとかよくないとかいう考え方	1	2	3
(3) 結婚のときに相手方の身元を調査すること	1	2	3
(4) 結婚式場で「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示をすること	1	2	3
(5) 家を建てるときに、方角がよいとかよくないとかいう考え方	1	2	3

問4 あなたが、自分自身をどのように思っているかを、ありのままお答えください。次の(1)～(8)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	かなり(大いに) あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまら ない	ほとんど(まった く)あてはまらない	なんともいえない、 わからない
(1) 現在、自分の生活は充実している	1	2	3	4	5
(2) 自分には、ほかの人にはないよい点があると思う	1	2	3	4	5
(3) 自分は何をやってもだめな人間だと思ふことがある	1	2	3	4	5
(4) 自分は、人とうまくやっていける人間だと思ふ	1	2	3	4	5
(5) 自分は、困難なことでも、何とかやり遂げることができると思ふ	1	2	3	4	5
(6) 自分は、まわりの人から期待されていない、と思ふことがある	1	2	3	4	5
(7) 自分の人生は、どんなに努力しても、うまくいくとは限らないと思ふ	1	2	3	4	5
(8) 世間人は、だれも自分をきちんと評価してくれていないと思ふ	1	2	3	4	5

問6 あなたは、次のような人権の考え方についてどのように思いますか。次の(1)～(7)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
(1) 人権は自分の生活には関係ない	1	2	3	4	5	6
(2) 人権は職場の中では通用しない	1	2	3	4	5	6
(3) 人権は夫婦の間では関係ない	1	2	3	4	5	6
(4) 人権は幼児には関係ない	1	2	3	4	5	6
(5) 人権は外国人労働者には関係ない	1	2	3	4	5	6
(6) 人権は結婚とは関係ない	1	2	3	4	5	6
(7) 人権は職業の選択とは関係ない	1	2	3	4	5	6

問7 あなたご自身の結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で、気になること（気になったこと）についてお聞きします。

(1) あなたは結婚されていますか。



(2) 気になること、気になると思うことをお答えください。(○はいくつでも)

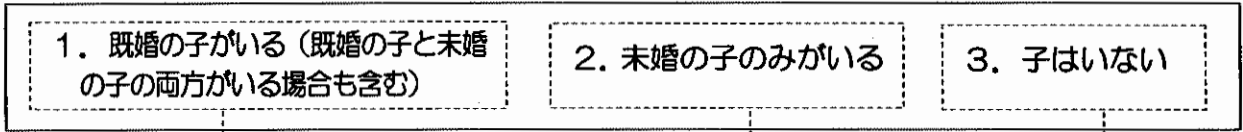
1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他
(具体的に: _____)
10. とくに気にしない

(3) 実際に気になったことをお答えください。(○はいくつでも)

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他
(具体的に: _____)
10. とくに気にしない

問8 自分の子の結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で気になることについてお聞きします。

(1) あなたには、お子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)



(2) 実際に気になったことをお答えください。(〇はいくつでも)

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他
(具体的に: _____)
10. とくに気にしない

(3) 気になること、子どもがいない方は子どもがいると想定してお答えください。(〇はいくつでも)

1. 相手の学歴
2. 相手の経済力
3. 相手の職業
4. 相手の家柄
5. 相手の国籍・民族
6. 相手の家族に障害を持つ人がいるかどうか
7. 相手の宗教
8. 相手が同和地区出身者かどうか
9. その他
(具体的に: _____)
10. とくに気にしない

人権とのかかわりについてお聞きします。

問9 あなたは、人権問題に関する記事や番組を読んだり、見たりしたことがありますか。それは人権問題の理解に役立ちましたか。(1)～(6)のすべてについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

	に役立ちました	かかった	ない
(1) 広報誌(「広報とよの」、人権啓発冊子「かがやき」など)	1	2	3
(2) パンフレット・冊子、ポスター	1	2	3
(3) テレビ・ラジオ番組	1	2	3
(4) 映画・ビデオ	1	2	3
(5) 書籍	1	2	3
(6) 新聞・雑誌	1	2	3

問 10 次の人権問題で、あなたが関心のあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 同和問題
2. セクシュアル・ハラスメントなど女性の人権問題
3. 障害者の人権問題
4. 財産や金銭の詐取、虐待など高齢者の人権問題
5. いじめや虐待など子どもの人権問題
6. 採用拒否や入居拒否などの外国人の人権問題
7. HIV感染者、ハンセン病回復者等の人権問題
8. 犯罪被害者とその家族の人権問題
9. ホームレスの人権問題
10. プライバシーをめぐる人権問題
11. その他 (具体的に: _____)
12. とくにない

問 11 人権問題について、あなたが、ご自分で勉強したり、読んだり、見たりしたものは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 新聞の関係記事を読んだことがある
2. 雑誌の関係記事を読んだことがある
3. 関係のある書籍を読んだことがある
4. 学校で使われている同和教育副読本“にんげん”を読んだことがある
5. 関係のあるテレビ番組を見たことがある
6. 関係のある映画を見たことがある
7. 「同和地区」の実態を見たり、「同和地区」の人と話しあったことがある
8. リバティおおさかななどの展示を見たことがある
9. その他 (具体的に: _____)
10. とくにない

問 12 あなたの知り合いの中で差別問題の解消や人権擁護に熱心に取り組んでいる人はいますか。(〇は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

-----▶ 問 13 にお進みください。

問 12-1 それは誰ですか。(〇はいくつでも)

1. 家族 2. 親 戚 3. 近所の人 4. 友 人 5. 職場の人	6. 学校の先生 7. 府や市町村の職員 8. 府内の市町村人権啓発住民組織や地域団体に活動している人など 9. その他(具体的に: _____)
---	--

差別問題や同和問題についてお聞きします。

問 13 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次にあげる(1)～(11)のすべてについてお答えください。あまり深く考えず、頭に浮かんだことを気軽にお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

	賛成	いえば賛成 どちらかと	いえば反対 どちらかと	反対	わからない
(1) 差別は、人間として最も恥すべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(5) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
(6) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(7) 差別だという訴えを、いちいち取り上げていたらきりが無い	1	2	3	4	5
(8) 差別される人の言葉をきちんと聞く必要がある	1	2	3	4	5
(9) 差別を問題にすることによって、より問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5
(10) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(11) 差別問題は、差別されている人の問題で、自分には関係がない	1	2	3	4	5

問 14 あなたは、日本の社会に、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

→ 問 19 にお進みください。

問 14-1 そのことをはじめて知ったのはどういうことからですか。(○は1つ)

1. 父母や家族から聞いた
2. 近所の人からきいた
3. 学校の友達からきいた
4. 職場の人からきいた
5. 学校の授業で教わった
6. 講演会、研修会などできいた
7. 府県、市町村の広報誌で読んだ
8. テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った
9. 近くに「同和地区」があった
10. その他(具体的に: _____)
11. おぼえていない

問 14-2 世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか。(○はいくつでも)

1. 本人が現在、同和地区に住んでいる
2. 本人が過去に同和地区に住んだことがある
3. 本人の本籍地が同和地区にある
4. 本人の出生地が同和地区である
5. 父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる
6. 父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある
7. 父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である
8. 職業によって判断している
9. その他(具体的に: _____)
10. わからない

問 15 あなたは同和地区（被差別部落）という言葉聞いたとき、どのような感じを持ちますか。(1)～(6)の語句のすべてについて、あなたの感じやイメージにいちばん近いところに、あまり深く考えずに、頭にうかんだ感じを気軽にお答えください。(○はそれぞれ1つ)

		非常にAに近い	ややAに近い	どちらともいえない	ややBに近い	非常にBに近い		
A							B	
(1)	上品な	1	2	3	4	5	下品な	
(2)	やさしい	1	2	3	4	5	こわい	
(3)	清潔な	1	2	3	4	5	不潔な	
(4)	進んでいる	1	2	3	4	5	遅れている	
(5)	豊かな	1	2	3	4	5	貧しい	
(6)	働きもの	1	2	3	4	5	なまけもの	

問 16 現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがあると思いますか。(○は1つ)

1. しばしば不利になることがある 2. たまに不利になることがある	3. 不利になることはない 4. わからない	問 17 にお進みください。
---------------------------------------	---------------------------	----------------

問 16-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(○は1つ)

1. 完全になくすことができる	2. かなりなくすことができる	3. なくすことは難しい
-----------------	-----------------	--------------

問 17 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。(○は1つ)

1. しばしば反対されることがある 2. たまに反対されることがある	3. 反対されることがない 4. わからない	問 18 にお進みください。
---------------------------------------	---------------------------	----------------

問 17-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(○は1つ)

1. 完全になくすことができる	2. かなりなくすことができる	3. なくすことは難しい
-----------------	-----------------	--------------

問 18 現在、同和地区の人たちは、同和地区で生活をしているということだけで低く見られたり、悪く見られたりすることがあると思いますか。(〇は1つ)

1. しばしばある 2. たまにある	3. そういうことはない 4. わからない	▶ 問 19 にお進みください。
-----------------------	--------------------------	------------------

問 18-1 それは、近い将来、なくすことができると思いますか。(〇は1つ)

1. 完全になくすことができる	2. かなりなくすことができる	3. なくすことは難しい
-----------------	-----------------	--------------

【ここから再び、全員のかたがお答えください。】

問 19 あなたは、学校、職場及び地域で、同和問題についての学習をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 小学校で受けた	7. PTAや民間団体が主催する研修で受けた
2. 中学校で受けた	8. その他 (具体的に: _____)
3. 高校で受けた	9. はっきりおぼえていない
4. 大学で受けた	10. 受けたことはない
5. 市民対象の講座などで受けた	
6. 職場の研修で受けた	

問 20 あなたは「同和地区の人は怖い」というような話をきいたことがありますか。(〇は1つ)

1. ある	2. ない	▶ 問 21 にお進みください。
-------	-------	------------------

問 20-1 それは誰からですか。(〇はいくつでも)

1. 家族	6. 学校の先生
2. 親戚	7. 府や市町村の職員
3. 近所の人	8. 知らない人
4. 友人	9. その他(具体的に: _____)
5. 職場の人	

問 20-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(〇は1つ)

1. そのとおりと思った	3. 反発・疑問を感じた
2. そういう見方もあるのかと思った	4. とくに何も思わなかった

問 21 あなたは、同和対策がやりすぎであったとか、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1. ある	2. ない	→ 問 22 にお進みください。
-------	-------	------------------

問 21-1 それは誰からですか。(〇はいくつでも)

1. 家族	6. 学校の先生
2. 親戚	7. 府や市町村の職員
3. 近所の人	8. 知らない人
4. 友人	9. その他(具体的に: _____)
5. 職場の人	

問 21-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(〇は1つ)

1. そのとおりと思った	3. 反発・疑問を感じた
2. そういう見方もあるのかと思った	4. とくに何も思わなかった

問 22 あなたは、「同和地区の人はこわい」「同和対策は不公平だ」などの話が出たときに、それに対する反論を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

1. ある	2. ない	→ 問 23 にお進みください。
-------	-------	------------------

問 22-1 それは誰からですか。(〇はいくつでも)

1. 家族	6. 学校の先生
2. 親戚	7. 府や市町村の職員
3. 近所の人	8. 府内の市町村人権啓発住民組織や地域団体に活動している人など
4. 友人	9. その他(具体的に: _____)
5. 職場の人	

問 22-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(〇は1つ)

1. そのとおりと思った	3. 反発・疑問を感じた
2. そういう見方もあるのかと思った	4. とくに何も思わなかった

問 23 あなたご自身、同和地区に住んでいる人つきあいはありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

→問 24 にお進みください。

問 23-1 その方とのつきあいは、どの程度ありますか。(○はいくつでも)

1. 近所づきあいをしている
2. 福祉や子どもの教育のことなどで、地域での取組みを一緒にしている(したことがある)
3. 自治会、女性会(婦人会)、PTAなどのメンバーとしてつきあっている
4. 同じ職場で働いているなど、仕事の関係でつきあっている
5. 民謡、民踊、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
6. 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
7. 学校時代からつきあっている友人である
8. その他(具体的に: _____)

問 24 もし、あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同じ小学校区にある物件は避けることがありますか。(○は1つ)

1. 同和地区や同じ小学校区にある物件は避けると思う
2. 同和地区にある物件は避けるが、同じ小学校区にある物件は避けないと思う
3. いずれにあってもこだわらない
4. わからない

問 25 あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. ある

2. ない

問 26 同和地区出身者に対する差別をなくすために、次にあげる意見はどの程度重要だと思いますか。(1)～(8)のすべてについてお答えください。(それぞれ1つに○)

	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
(1) 行政が一般的に行っている施策により、同和地区住民の自立を支援する	1	2	3	4	5
(2) 同和地区住民が差別の現実や不当性をもっと強く社会に訴える	1	2	3	4	5
(3) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」を進める	1	2	3	4	5
(4) 学校教育・社会教育を通じて、差別意識をなくし、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う	1	2	3	4	5
(5) 差別を法律で禁止する	1	2	3	4	5
(6) 同和地区のことや差別があることを口に出さなくて、そっとしておけば自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(7) 同和地区の人々が、かたまって住まないで、分散して住むようにする	1	2	3	4	5
(8) 戸籍制度を大幅に見直す・廃止する	1	2	3	4	5

問 27 同和地区出身者に対する差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別する人がやがて孤立してしまう。

Bの意見：世間では、まだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

あなたはA、Bどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

1. Aの意見に賛成
2. どちらかというAの意見に賛成
3. どちらかというBの意見に賛成
4. Bの意見に賛成
5. わからない

問 28 学校や職場、日常生活の中で、誰かが同和地区の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。または、とると思いますか。(○は1つ)

1. 差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う(と思う)
2. おもて向きは話を合わせるが、何とか差別はいけないことを伝える(と思う)
3. おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
4. ほかの話題に変えるよう努力する(と思う)
5. 何もせずに黙っている(と思う)
6. その他(具体的に: _____)

あなたご自身のことについてお聞きします。これまでお聞きしたことを統計的に分析するために必要ですので、ご協力をお願いします。

問 29 あなたの性別は。(○は1つ)

1. 男
2. 女

問 30 あなたの年齢は。平成 17 年 6 月 1 日現在の満年齢でお答えください。(数字を記入)

6月1日現在で、満

--	--	--

 歳

問 31 あなたが最後に卒業された学校は。(在学中の方は在学している学校をお答えください。)(○は1つ)

1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校
2. 高等学校、中卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校
3. 短大・高等専門学校、高卒が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高校、専門学校
4. 大学、大学院

人権問題に関する町民意識調査報告書

編集・発行 2007（平成19）年3月

豊能町 総務部 自治人権課

〒563-0292

大阪府豊能郡豊能町余野414番地の1

電話072-739-0001（代表）